看護学科 1年 前期 総合科目

- 1. 人間関係論
- 2. 心理学
- 3. 倫理学
- 4. 地域つくりかえ学
- 5. 基礎英語
- 6. 日本文化
- 7. 日本語表現技法
- 8. 情報処理 I

		有成于行			_					
科目名:	人間関係論					i教員 氏名:				
単位	開講時期	(年次•期)	科目の区分	授	" 方法	(卒業要件) 必修/選択		備考		
2	1年次	前期	総合科目	i	講義	必修	交流分析士2級受験資格			
	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	県内の各病院や医 学修する。	療法人で接退	研修を	行ってし	いる実務経験を	活かして、心	理学的視点からの接遇を体験		
授業科目の	授業科目の学修教育目標の概要: キーワード キーワード									
認められる ・自己のパー やりとり選抜 善する。 ・交流分析: 来と私。自	・人間関係論は、人間性心理学(交流分析)を中心に学修し、講座を通じて「自他を受け入れ認められる人」「人と親密に係ることができる人」を目指す。 ・自己のパーソナリティの認識と改善、他者への気づきと円満な対応、状況と相手に相応しいやりとり選択、効果的なストローク(ふれ合い)交換、自己の感情や行動の傾向に気づいて改善する。 ・交流分析スローガン「人は誰でもOKである。過去と他人は変えられない。変えられるのは未・コミュニケーション法・カリとり・傾聴・ストローク 授業における学修の到達目標									
(卒業	学修教育目標 認定・学位授与の方									
A 知識·理	解力		・自己のパーソナリティ認識と成長法							
E 自己管理	里力		・人生の構えの	のゆらぎ	と改善、	・人生脚本の	書き換え等			
F チームワ	リーク・リーダーシッ フ	プ	・自他のパーン ンを含む)・ス				りとりパター:	ンの改善(傾聴法、アサーショ		
G 倫理観			•自他受容(人	、は誰で	もOKで	ある。人は誰で	でも考える力を	を持っている.)		
H コミュニ・	ケーションカ		エゴグラム分	が析、∙や	りとりハ	パターンの改善	、・ストローク	授受の改善		
成績評価の	方法•基準: 以下(の方法により評価し	、学則および	覆修要項	頁に従い	、60点以上を	単位認定とす	る		
テスト:	90 %	レポート:	% 発	表:	%	実技試験:	%	その他: 10 %		
特記事項:	アクテイブラーニング	ブの一環としてグル	一プワーク、発	表を行	う。					
アクティブラー	ニング要素:									
課題	解決型学修	ディスカッション、ディ	バベート グリ	レープワ-	-2	プレゼンテ	ーション	実習、フィールドワーク		
テスト・レホ [°] ート る)	•発表•実技試験等	の実施時期:随時ョ	€施する。補習	∙試験日	に期末	テストを実施す	る。(テスト・	レベルは上述の到達目標によ		
	やレポート等)に対す 爰活動における実践						コにフイードバ	ぶっクをし、確実な講義内容の		

+∞ ** =\	準備学修(予習・復習等)
授 業 計 画 L	学修内容	学修に必要な 時間(分)
①人間関係論とは何か 人間関係論の必要性と目的 自己紹介(グループワーク)	オリエンテーション 自画像と他画像	
②自我状態とは何か 自我状態の構造分析 (シートP1)	【予習】テキストの該当箇所を読む	【予習】20分 【復習】30分
③「今、ここ」でのパーソナリティ(自我状態の機能分析その1)(シートP2)	【予習】テキストの該当箇所を読む	【予習】20分 【復習】30分
④「今、ここ」でのパーソナリティ(自我状態の機能分析その2 エゴグラム心理分析)(シートP3・4)	【予習】テキストの該当箇所を読む	【予習】20分 【復習】30分
⑤「今、ここ」でのパーソナリティ(自我状態の機能、肯定的側面と否定的側面)(シートP5・6)	【予習】テキストの該当箇所を読む	【予習】20分 【復習】30分
⑥自我状態の改善による自他への肯定的人間関係の構築(エゴグラム活用ガイド問題記入提出)	【予習】テキストの該当箇所を読む	【予習】20分 【復習】30分
⑦人間関係論の概要と自我状態のまとめ やりとり分析その1 やりとり分析とは	【予習】テキストの該当箇所を読む	【予習】20分 【復習】30分
⑧やりとり分析その2 刺激と反応によるやりとりの三つのパターン・相補交流(シートP7・8・9)	【予習】テキストの該当箇所を読む:	【予習】20分 【復習】30分
⑨やりとり分析その3 刺激と反応によるやりとりの三つのパターン・交差交流・裏面交流(シートP10・1 1・12)	【予習】テキストの該当箇所を読む:	【予習】20分 【復習】30分
⑩やりとり分析その4 快い交流を図るには(シートP13)	【予習】テキストの該当箇所を読ま:	【予習】20分 【復習】30分
⑪ストロークとは何か その重要性と効果・ストロークの種類(シートP14)(エゴグラム活用ガイドフィード バック)	【予習】テキストの該当箇所を読む:	【予習】20分 【復習】30分
⑫ストローク飢餓とは(シートP15・16・17)	【予習】テキストの該当箇所を読む:	【予習】20分 【復習】30分
③ストローキング・プロフィールによる心理分析(シートP18~22)	【予習】テキストの該当箇所を読む:	
⑭快いスートローク交換を心がけよう(シートP23) ディスカウントとは(シートP24)	【予習】テキストの該当箇所を読む	
⑮ディスカウントの領域(シートP25) 全体講義内容のまとめと自己改善の行動目標設定	【予習】テキストの該当箇所を読む	【予習】20分

使用テキスト:「交流分析士2級テキスト」「交流分析士2級TAシート」(NPO法 その他参考文献など: 人日本交流分析協会発行)、エゴグラム活用ガイド TA TODAY 最新・交流分析入門 I・スチュアート 著 V・ ※随時プリントを配布します。 ジョインズ 著(実務教育出版)

受講上の留意点(担当者からのメッセージ):受講上の留意点(担当者からのメッセージ):「自分を受け入れ、人をも受け入れることができ る人」「自他のパーソナリティを認識し、それにふさわしい対応ができる人」を目指す。人にとって人間性豊かな係わりは、何物にも代え難く |有り難い励ましである。人間関係論は、今後の人生を通じて、色々な場面で、いつも役に立つ。人間関係論(交流分析)は心理カウンセ ラーへの導入路でもある。 「人間関係論」と後期の「コミュニケーション論」の両方を受講し、かつ、6時間の補講を受けた人には、2月頃実施のNPO法人日本交流分

析協会「2級交流分析士」(登録商標)の受験資格が与えられる。

		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								
科目名:	心理学			担当	当教員 氏名:	坂本 美奈子	2			
単位	開講時期	月(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択		備考			
2	1年次	前期	総合科目	講義	選択					
		臨床心理士として 看護師同士のコミ				を基本に実践	美できる心理学を 学	学修し患者だけでなく		
授業科目の	D学修教育目標の概						キーワート	ř		
認知療法・ につけます		得し、看護の現場で				家族地図 心理学の領域 患者の心理者				
	受業における学修の到達目標 学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)									
A 知識·玛			人間の理解を深る	 める						
D 問題解	 決力		自己理解を深める	 გ						
E 自己管理			現場に適応できる	 る力を養う						
成績評価の	D方法·基準: 以下	の方法により評価し		多要項に従い	・、60点以上を ^j	 単位認定とす	る			
テスト:	%	レポート: 40	% 発表:	40 %	実技試験:	%	その他: 20	%		
特記事項:										
アクティブラー 理型	-ニング要素: 夏解決型学修	ニ ッフもいくって、 デ	·~ L // //		ر ناز، <u>۱</u>		宝羽 つん	, п Г П <u></u> Б		
テスト・レホ [°] ート	· 発表 · 実技試験等			プワークン	グレゼンテ		天白、ノ1	ィールドワーク		
課題(試験	やレポート等)に対す	するフィードバックの)方法:レポートに	コメントや成糸	績をつけて 返却	する。				
		7थ्थ और ≕I	-				準備学修(予習・復			
		授業計				学修内容 学修に必要な 時間(分)				
①オリエンテ	ーション						:学修として、授業 とを通して、自己	【予習】60分【復習】60分		
②自己理解	を深める①アドラー心)理学理論				肯定感と他		【予習】60分【復習】60分		
③自己理解	を深める②アドラー心)理学記述ワーク					いか練習(実践)	【予習】60分【復習】60分		
④心理学の	実習1(欠点を長所に	生かす)				C (v,c & c	、 より。	【予習】60分【復習】60分		
⑤コミュニケ	ーションスキル①アサ	ナ―ショントレーニング	ř				【予習】60分【復習】60分			
⑥コミュニケ	ーションスキル②倫理	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■						【予習】60分【復習】60分		
⑦心理学の	実習2(人生曲線)						【予習】60分【復習】60分			
⑧ストレス対	対策(認知療法・認知行	亍動療法)						【予習】60分【復習】60分		
⑨スキーマの	の修正							【予習】60分【復習】60分		
⑩家族地図	を作る							【予習】60分【復習】60分		
⑪家族地図	を発表する①							【予習】60分【復習】60分		
⑫家族地図	を発表する②					【予習】60分【復習】60分				
③構成的工	ンカウンター①				【予習】60分【復習】60分					
14構成的工	ンカウンター②							【予習】60分【復習】60分		
⑤総括								【予習】60分【復習】60分		
使用テキス	ト: 特に使用しませ	 せん。プリントを配布	 iします。		その他参考文	 献など:				

__=#.24.1.1

		看護字科								
科目名:	倫理学					担当	教員 氏名:	鈴木 康文		
単 位	開講時期	(年次•期)	科目	の区分	授第	美方法	(卒業要件) 必修/選択		備考	
2	1年次	前期	総合	合科目	請	購義	選択			
	用いてどのような授業 っているか:									
授業科目の	学修教育目標の概	要:							キーワード	
場を主題とし	は理性的に自らの して、その歴史的背 上で、この近代的な 味する。	景、意義、および社	会的展	開を明られ	かにす	⁻ る。		·民主主義 ·同	個の尊厳・自由・理性 調圧力・リスク・放射能 か・動物の権利・戦争	
授業におけ	る学修の到達目標									
(卒業)	学修教育目標 認定・学位授与の方									
A 知識•理	解力	現代の価値観(かけがえのない個=人間の尊厳)の歴史、意味、それを支える社会的制度を知る。								
C 論理的思	思考力	現代の価値観から導かれる善悪について論理的根拠に基づいて考察する。								
D 問題解》	央力		現代の何	価値観から	生じる	さまざま	な社会問題・シ	ジレンマについて	、問題解決の方策を検討する	0
E 自己管理	里力		現代の何る。	価値観から	導か∤	1る自律	(自分を律する	ら)の精神を身に	つけるとともに、その限界も理解	解す
G 倫理観			現代の何高める。		方を理	里解し、国	医療従事者にな	なったときに生じる	る倫理的ジレンマに対する受容	度を
成績評価の	方法•基準: 以下(の方法により評価し	、学則:	および履修	逐要項	に従い	、60点以上を	単位認定とす	5	
テスト:	%	レポート: 90	%	発表:		%	実技試験:	%	その他: 10 %	
特記事項:ス	本科目は、アクティフ	ブラーニングの一環	として、	映像資料	を用し	いた事例	検討を実施	します。	•	
	解決型学修	ディスカッション、ディ の実施時期:授業後	-					ノテーション と後の授業終了	実習、フィールドワーク 後に課題レポートの提出を	求
めます。 課題(試験* をします。	やレポート等)に対す	^ナ るフィードバックの	方法∶名	各回授業後	eのリ [・]	アクショ	ンペーパーに	こついては、次[回の授業で簡単にフィードバ	「ック

準備学修(予習・復習等)

₩ 計 兩	干煸子炒()百 及百分/	
授業計画 	学修内容	学修に必要な 時間(分)
①イントロダクション:本講義の全体像。現代の価値観「かけがえのない個」の意義	【予習】講義概要を熟読しておく。 【復習】講義資料のポイントを整理	【予習】20分 【復習】40分
②自由主義(1) 人間の本質は自由か理性か?	【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理	【予習】20分 【復習】40分
③自由主義(2) 愚行権、さらに法と道徳の問題について	【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理	【予習】20分 【復習】40分
④功利主義(1) トロッコ問題から功利的な社会を把握する	【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理	【予習】20分 【復習】40分
⑤功利主義(2) 民主主義と多数決原理の問題点を探究する	【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理	【予習】20分 【復習】40分
⑥事例:原発問題(1) 映画『パンドラの約束』を見て、エネルギー問題を考える	【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理	【予習】20分 【復習】40分
⑦事例:原発問題(2)映画『パンドラの約束』を見て、技術のあり方を考察する	【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理	【予習】20分 【復習】40分
⑧事例:原発問題(3) 安全と安心(リスク評価とその限界、感情について)	【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理	【予習】20分 【復習】40分
⑨人間の権利(人権)と動物の権利(1) 動物に対するさまざまな見方・態度を学ぶ	【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理	【予習】20分 【復習】40分
⑩人間の権利(人権)と動物の権利(2) 人間と動物を分けるものは何かを検討する	【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理	【予習】20分 【復習】40分
⑪現代の人間観(理性と感性)(1) 人間の認知能力を知る	【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理	【予習】20分 【復習】40分
⑫現代の人間観(理性と感性)(2) 人間の理性能力と直観能力を探究しその限界を自覚する	【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理	【予習】20分 【復習】40分
⑬諍いと戦争(1) 戦争について人類史から捉える	【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理	【予習】20分 【復習】40分
⑭諍いと戦争(2) 戦争を事例として人間の理性の信頼性について洞察する	【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理	【予習】20分 【復習】40分
⑤まとめ 現代の人間論を概括する	【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理	【予習】20分 【復習】40分

使用テキスト: なし。授業中にプリントを配布します。

その他参考文献など: 鈴木宏昭『教養としての認知科学』、東京大学出版会、 2016年。ISBN: 978-4130121101

受講上の留意点(担当者からのメッセージ):授業冒頭に課題を理解するための映像資料を見てもらいます。

看護学科 千英樹(とりまとめ)、村井嘉寛、中村尚紀 担当教員 氏名: 科目名: 地域つくりかえ学 (卒業要件) 開講時期(年次・期) 科目の区分 授業方法 備考 単位 必修/選択 1年次 前期 総合科目 講義 必修 1 実務経験を用いてどのような授業『看護実践にかかるすべての行動に連動するように、SDGsの観点から地域を振り返りながらつくりだし、つくり を行っているか: 『かえながらつくっていく過程についても重要視している。 授業科目の学修教育目標の概要: キーワード 主体的に地域の課題を学び、その解決のために必要な目標を設定し、具体的に「ひと・こと・も 教育目標「つくり、つくりかえ、つくる」、『私』宣 の」(地域社会)にかかわる行動に移し、自身を「つくり、つくりかえ、つくる」実践力を高める。 |言、地域社会に生きる「私」、実践躬行 授業における学修の到達目標 学修教育目標 1.2.3.4.5.7.8.10 (卒業認定・学位授与の方針との関連) D 問題解決力 問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を解決できる。 E 自己管理力 地域社会の「ひと、こと、もの」に働きかけ自己を律して行動できる。 G 倫理観 自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。 【市民としての社会的責任】義務と権利を適正に行使しつつ、地域社会に生きる「私」にな F チームワーク・リーダーシップ 【生涯学習力】自ら設定した目標(『私』宣言)に対して、それを行動に移し、「つくり、つくり C 論理的思考力 かえ、つくる」の実践力を持つ。 成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする テスト: % レポート: 33 % 発表: % 実技試験: % その他: 67 % 特記事項:「つくりかえレポート」と年間の「週フォリオ」を含めた様々な問題への取り組み状況によって評価する。本科目は、アクティブラーニ ングの一環として、前期中にボランティア活動を各学生1回以上行い、後期の「富山コミュニティ論」 にて活動発表を行う。また闘病記文庫感 想文コンクールへの参加を推奨し、支援を必要とする方への共感性を養う。 アクティブラーニング要素: ディスカッション、ディベート グループワーク 実習、フィールドワーク 課題解決型学修 プレゼンテーション |テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:最終課題となる「つくりかえレポート」については、1回目の授業内で説明し提示す る。 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:授業後毎回週フォリオを提出する。それに加えて課題レポートを提出 し、適宜AD面 談等を行い、返却する。 準備学修(予習・復習等) 授業計画 学修に必要な 学修内容 時間(分) ①【山元学科長】教育目標「つくり、つくりかえつくる」とSDGs 4/11 (火) 4限 【復習】学習振り返り、レポート 60分 ボランティア活動 (ヘアードネイションの推進等)について ②【長谷川学長】「富山福祉短期大学で学ぶ意義」 4/18 (火) 4限 【復習】学習振り返り、レポート 60分 ③【永井常務】「地域連携の重要性・必要性①」 4/25 (火) 4限 【復習】学習振り返り、レポート 60分 ④【堀客員教授】「地域連携の重要性・必要性②」 5/2 (火) 4限 【復習】学習振り返り、レポート 60分 ⑤【炭谷・千】初年次教育 パソコンの使い方/レポートの書き方 5/9 (火) 2限 |【復習】学習振り返り、レポート 60分 ⑥【中村】ボランティア活動で自分発見 、きときとコミュニティ・サポーター としての社会貢献 5/16 (火) 4限 【復習】学習振り返り、レポート 60分 ⑦【地域に学ぶ特別講義:松浦先生】(1) 地域福祉について学ぶ(ゲストスピーチ) 5/23 (火) 4限 【復習】学習振り返り、レポート 60分 ⑧【地域に学ぶ特別講義:小泉先生】(2) 認知症サポーター養成研修(ゲストスピーチ) 5/30 (火) 4限 【復習】学習振り返り、レポート 60分 6/6 (火) 4限 【復習】学習振り返り、レポート ⑨【地域に学ぶ特別講義:水上先生】(3) 子育て支援について学ぶ(ゲストスピーチ) 60分 ⑩【服部先生】訪問看護ステーションの活動から学ぶ、在宅ケアにおける地域 課題(ゲストスピーチ) 6/13 (火) 4限 【復習】学習振り返り、レポート 60分 ⑪【村井・千】卒業生の「つくり、つくりかえ、つくる」に学ぶ 6/20 (火) 2限 【復習】学習振り返り、レポート 60分 |使用テキスト: 看護学生のためのよくわかる大学での学び方.スタディ・スキル/ その他参考文献など: キャリア・デザイン/プロフェッショナル・スキル.監修前原澄子.遠藤俊子.金芳 ・看護学生スタートブック.藤井徹也.医学書院 堂.ISBN978-4-7653- 1602-6 ・思考を鍛えるレポート.論文作成法第2版.井下千以子.慶 應義塾 大学出版会・グループワークその達人への道.三 浦真琴.医学書院・15分でチームワークを高めるゲーム39

受講上の留意点(担当者からのメッセージ):

本学で大切にしている学びの基礎とあり方を追求する。積極的な「つくり、つくりかえ、つくる」を目指そう。

ブライアン・コール・ミ ラー.Discover

科目名: 基礎英語 担当教員 氏名: 藤田登久、與座卓 とりまとめ炭谷 単 位 開講時期(年次・期) 科目の区分 授業方法 備考 必修/選択 1年次 前期 総合科目 演習 必修 1 実務経験を用いてどのよりな場合を大きない。第一番というには、日本国内にて看護師3,500人以上に英会話指導をした | 夫務経験を用いてとのよう経験等を活かし、受講者がより効果的かつ効率的に基礎から基本的看護英会話の習得ができるよう指導 うな授業を行っているか: ナムラ を行う。 授業科目の学習教育目標の概要 キーワード 英会話に必須となる最低限の基本的な8種の発音、5文型、フレーズ等を効率的に学 基礎英語、看護英会話、音読、発音、5文 び、医療施設での患者との会話を想定した訓練を行うことで、実践的な英会話能力を習 型、フレーズ、語彙、等 得する。 授業における学修の到達目標 学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連) |会話基礎となる8種の発音、5文型、看護英語に関連するフレーズや語彙等の習得 A 知識·理解力 F チームワーク・リーダーシップ |グループごとの共同作業、リーダーを交代で務めてメンバー間調整方法等を習得 常時会話相手がいることを意識した上での、質問、説明、指示方法等を習得 H コミュニケーション力 成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする その他: 20 % テスト: 50 % レポート: % 発表: 30 % 実技試験: % 特記事項:会話相手に対して、質問、説明、指示の3課題に整理しつつ必要な表現方法を確認し、グループワークにて会話訓練を 行い、訓練成果として毎回グループメンバーから発表者を選び、他のメンバーの前で発表する。 アクティブラーニング要素: ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 課題解決型学習 実習、フィールドワーク テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:授業計画欄に記載。看護英会話のリスニングテスト 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:グループワークによる会話練習成果を毎回発表し、発音、イントネーショ ン、アクセント、フレーズ、コミュニケーション方法等について改善点を指導する。最終テストの採点結果についてコメントをつけて返 却する。

授 業 計 画	準備学習(予習·復習等	;)
技 未 前	学習内容	学習に必要な 時間(分)
①【藤田】英文法の基本理解に基づく英文構造の把握と、英語表現への展開	5文型と4大品詞 【基本の基本】	予習+復習 =60分
②【藤田】英文法の基本理解に基づく英文構造の把握と、英語表現への展開	不定詞【動詞に準ずるもの1】	予習+復習 =60分
③【藤田】英文法の基本理解に基づく英文構造の把握と、英語表現への展開	分詞【動詞に準ずるもの2】	予習+復習 =60分
④【藤田】英文法の基本理解に基づく英文構造の把握と、英語表現への展開	動名詞【動詞に準ずるもの3】	予習+復習 =60分
⑤【藤田】英文法の基本理解に基づく英文構造の把握と、英語表現への展開	時制 【時間の不思議1】	予習+復習 =60分
⑥【藤田】英文法の基本理解に基づく英文構造の把握と、英語表現への展開	仮定法 【時間の不思議2】	予習+復習 =60分
⑦【藤田】総まとめテスト	厳選した良問の<テスト+解説>	復習=60分
⑧【與座】英会話学習方法の理解、会話時の発音と文法、診療科名称語彙、施設内方向案内等	8個の発音、5文型と品詞、学習方法等	【予習】30分 【復習】30分
⑨【與座】会話フレーズ説明、グループ別会話練習(外来受付、トリアージ)と発表(2名づつ)	フレーズ内容確認と音読反復練習	【予習】30分 【復習】30分
⑩【與座】会話フレーズ説明、グループ別会話練習(バイタル、採血)と発表(2名づつ)	フレーズ内容確認と音読反復練習	【予習】30分 【復習】30分
⑪【與座】会話フレーズ説明、グループ別会話練習(尿検査、心電図検査)と発表(2名づつ)	フレーズ内容確認と音読反復練習	【予習】30分 【復習】30分
⑩【與座】会話フレーズ説明、グループ別会話練習(点滴、注射)と発表(2名づつ)	フレーズ内容確認と音読反復練習	【予習】30分 【復習】30分
⑬【與座】会話フレーズ説明、グループ別会話練習(病歴、病棟内案内)と発表(2名づつ)	フレーズ内容確認と音読反復練習	【予習】30分 【復習】30分
⑭【與座】会話フレーズ説明、グループ別会話練習(処置室、クレーム対応)	フレーズ音読練習と最終テスト準備	【予習】30分 【復習】30分
⑮【與座】最終テスト、学習内容のまとめ説明、質疑応答等	最終テスト内容とコメント返却内容確認	【予習】30分 【復習】30分

★少人数制のWeb授業を実施、国内にいる外国人の受診時に対応できるようになる。

使用テキスト:

【藤田】「基礎をしっかり固める 英文法 トレーニングノート < α > 」増進堂・受験研究社、本体580円 + 税、ISBN978-4-484-64849-5

【與座】「看護英語のキホン」松井美穂著、秀和システム、本体1500円+ 税、ISBN978-4-7980-5864-1

その他参考文献など:

「音読で外国語が話せるようになる科学」門田修平 独自制作動画(テキストに合致、Youtube URL有り)

受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 英語と日本語、翻訳と会話では全く異なる点が多いことから、英会話能力を向上させるための音読による反復練習、グループ別会話練習を行い、特に発音を中心とした指導を行う。このため受講者は、語彙やフレーズの意味等について事前に辞書や参考書を調べておくことや、音読の反復練習によってスムーズにフレーズを言えるように訓練しておく必要がある。

		1 6 5 1 1 1								
科目名:	日本文化				担当	教員 氏名: 藤橋	· 新洋子			
単 位	開講時期(生	年次•期)	科目の区分	子 授業方	法	(卒業要件)必修/ 選択		備考		
1	1年次	前期	総合科目	演習	¥	選択				
	いてどのような授業									
を行っているか										
	学修教育目標の概要							キーワー	-	
は、日本の文化 か、何を望むの	!康をサポートすること 化(生活文化)を理解: のか。 日本文化の特 日常生活のの中にあ	することも必要です、 性を学び広い視野を	長い時を経て発展し 養い、看護職として	て来た、幅広いた	分野です	、人はいかに生きる	暦 歳 化 社会 茶道		云統文 思 居	思想 風土
授業における	学修の到達目標 学修教育目:	抽								
(卒業	デッジョウ 学記定・学位授与のプ									
A 知識·理解	計			・風土の中ではく をし考えを発展さ		た日本固有の文化を fく。	を体系的に学び日	本人の心を知	叩る。自己≐	学修能力を高
G 倫理観						心を養い、看護の理 ルに従って行動でき				
H コミュニケ	ーションカ		できるようにな					10 11 12 17 10		_, , , , , ,
成績評価の力	方法・基準: 以下の	方法により評価し、!	学則および履修要	項に従い、60点	以上を	単位認定とする				
テスト:	%	レポート: 50	% 3	 発表:	%	実技試験:	%	その他:	50 %	6
特記事項:										
アクティブラーニ 課題解決型学		ション、ディベート	> グループワーク	<i>ז</i> プレ	レゼンテ -	ーション	実習、フィールドワ	リー ク		
テスト・レホ゜ート・き	発表・実技試験等の	実施時期:課題レホ	ポート提出(6月初年	引)、最終講義に	おいてき	発表課題レポート提	出(7月中旬)			
課題(試験や	レポート等)に対する	るフィードバックの方	法:課題レポートを	を読み、感想や意	意見を記	2入し返却する				
		授業	計画				準信	備学修(予習 ・ 復習:	等)	
						-	ś	学修内容		学修に必要な 時間(分)
①日本文化詞	侖(自然に寄り添い、	多神教に基づいた。	生活文化)				【予習】教科書を読む 【復習】要点をまとめ		(60分
②日本人の自	自然観(暦・二十四	節気・陰陽五行・六□	瓘)				【予習】教科書を読む 【復習】要点をまとめ		6	60分
③歳時記(歴	史的由来・暮らしの	中の仕来りと豊かさ)正月・十二支・お	:盆・ハレとケ・五	節句		【予習】教科書を読む 【復習】要点をまとめ		(60分
④人生の行事	事(出産~人生の終	冬活)日本人の宗教	観·気質				【予習】教科書を読む 【復習】要点をまとめ		(60分
⑤精神性にも	らとづいたおもてなし	の心(茶・華・香・書	『道)				【予習】教科書を読む 【復習】要点をまとめ		6	60分
⑥伝統芸能	(雅楽・舞・歌舞伎・	文楽・長唄)					【予習】教科書を読む 【復習】要点をまとめ		(60分
⑦伝統文化・	工芸・芸術の現世代	この取り組と心 (課	題レポート)				【予習】教科書を読む 【復習】要点をまとめ		6	60分
⑧世間の付き	き合い(時候の挨拶	・手紙・エチケット・3	- 会食のマナー)				【予習】教科書を読む 【復習】要点をまとめ		(60分
は田ニナコ	ロナの ナル /=#	在珍佐井 不可从	++\			7 の小 4 去 + ****	×1°			
使用ナキスト	:日本の文化(講	帥か作成して配付し	ノます)			その他参考文献な	£:			
	意点(担当者からの <i>)</i> 引るためにも、日常生							の良さも見えて	てくると思い	ます。より豊

科目名:日本語表現技法						担当教員 氏名: 石﨑 美恵子					
単	位	開講時期(年次・	期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件)必修/選択		備考			
1	I	1年次	前期	総合科目	演	当	選択				
		引いてどのような いるか:						l			
		 学修教育目標の [;]	 概要:						キーワード		
実·意	見•文		の技法を学び「書く・記 体語での文章表現力を 悪		う」への知	識と理解	を深め、様々な事				
		学修教育目 認定・学位授与の	標								
A 知識・理解力 ・ことばの機能(思考と伝達)を学び、文章表現技法							、文章表現技法の基礎	楚を理解する。			
C 論	理的思	君 为					切で分かりやすい文章 像力をもち、変化を敏			通して、確か	
Н⊐	ミュニク	ァーションカ		な理解力・思考力	を育む。						
成績詞	平価の	方法·基準: 以T	下の方法により評価し	、学則および履修	要項に従	とい、60点	以上を単位認定とす	る			
		30 %	レポート: 50	% 発表:	9⁄	ó	実技試験: 9	6	その他: 20	%	
特記事レポー		%」はその都度作	文小論文の提出のこ	ことであり、その他に	ま授業中	の態度、	出欠状況より判断、ラ	テストは国語表現	乱能力を進度にあわ	せてする	
アクティ課題解	·ブラー: 注 決型:	ニング要素:	ツション、ディベート	グループワーク	プロ	ノゼン テ ー	ション実習、フ	フィールドワーク			
テスト・し し <i>た</i> :小	^{ル。} ート い論文i	·発表·実技試験等 是出。 適宜、漢字	等の実施時期: 2回 ア・平仮名・慣用句等	目の講義後 作文摄 のミニテスト実施。	建出。 3	3回目に1	E確な原稿用紙の表言	己がなされた作り	文提出。 6回目に	役定課題に即	
課題(試験や	ウレポート等)に対	†するフィードバックの	方法: その都度排	采点し、ア	ドバイス	し返却する。				
			授	業計画				準備	学修(予習·復習等)		
								学	修内容	学修に必要な 時間(分)	
① こと	:ばのホ	幾能・話しことばと	書きことば						の都度タイムリー	60分	
②文章	きを書	く 伝わるように書	らための基本練習、	整った文、接続表	現			な話題をのがさ 生きた日本語と るようにする。	60分		
3原和	高用紙	の基本 種類·表	記上の諸注意 表記	-漢字·平仮名·符·	号につい	て		00.7.27 0.		60分	
4文章	きの構	成 推論の方法、三	段構成等のまとまりの数に	こよる分類、頭括型等の	の位置によ	る分類				60分	
⑤小讀	倫文の	基礎① 小論文報	丸筆の手順 小論文の	D型、構成メ モ						60分	
⑥小請	⑥小論文の基礎② データーを読み取って書く グラフのいろいろ、意見をまとめる								60分		
⑦推嗣								-		60分	
8レオ	⊰—ト <i>0</i>)書き方 作成の	手順 基本的な構成	調査と報告 参考	文献等に	ついて		-		60分	
使用元	FキスI	` :					その他参考文献など 新聞・雑誌等の記事?			'	
·日本 ·日常	語の対生活の	つ中で自分の意見	のメッセージ): 基礎的事項を理解し しや考えを的確に表現しての必要性を認識で	見する。	章やレポ		L 成する。				

科目名: 情報処理 I 担当教員 氏名: 新田 雅道 (卒業要件) 単 位 開講時期(年次・期) 科目の区分 授業方法 備考 必修/選択 1年次 前期 総合科目 演習 必修 1 実務経験を用いてどのような授 業を行っているか: 授業科目の学修教育目標の概要: キーワード 近年の医療・福祉の現場において、電子カルテ等をはじめとして急速に情報化が進んでいる。 コンピュータ、ネットワーク、ソフトウェア、 また幼児教育の現場でも、園児記録や保護者通信などで、コンピュータを活用する場面が増え ワード、エクセル、 てきた。この科目では、コンピュータやネットワークの基本知識を学習し、各種ソフトウェアの基 パワーポイント、情報セキュリティ 本的な活用能力を演習をとおして修得する。 授業における学修の到達目標 学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連) コンピュータ、ネットワークの基礎知識、情報リテラシーを理解する。 A 知識·理解力 ·Windows10の基礎知識を学習する。 ・文書作成ソフト「Microsoft Word」、プレゼンテーションソフト「Microsoft Power Point」 D 問題解決力 の基本操作を修得する。 成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする レポート: 50 % 実技試験: その他: 30 % テスト: % 発表: 20 % % 特記事項:

- ・上記、「その他」では授業の態度、授業中の課題演習の提出状況などで評価する。
- ・授業外の予習・復習が不可欠であり、反転授業(アクティブ・ラーニング)として、学生が主体的に関わる意識を持つことを重視する。

アクティブラーニング要素:

課題解決型学修

ディスカッション、ディベート グループワーカ

ダレゼンテーション

実習、フィールドワーク

テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 授業中後半に毎回課題演習を行う。またグループワークによる成果物を数回提出する。 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:授業中に出す演習課題については各学生毎にチェックする。またグループワーク による成果物については、グループでの関わり方の結果を伝える。

	準備学修(予習·復習等)			
授業計画	学修内容	学修に必要な 時間(分)		
① 情報化社会の現状とセキュリティの基礎知識の理解	情報化社会の現状と課題につ いて調べる	【予習】30分 【復習】30分		
② ビジネスメールの作成とマナーの理解	ビジネスシーンとメールの活用	【予習】30分 【復習】30分		
③ Wordによる文書作成(基本的な機能)の習得	Wordの基本機能を理解	【予習】30分 【復習】30分		
④ Wordによる文書作成(実用的な機能)の習得	Wordの実用的機能を理解	【予習】30分 【復習】30分		
	GoogleWorkspaceのアプリド キュメント」の活用	【予習】30分 【復習】30分		
	PowerPointの基本機能を理解	【予習】30分 【復習】30分		
(グ) Powerpointによるスプイト作成(衣、グラブの挿入、ゲーメージョンの活用)	PowerPointの実用的機能を理 解	【予習】30分 【復習】30分		
⑧ グループワークによる発表スライドの制作	GoogleWorkspaceのアプリ「スラ イド」の活用	【予習】30分 【復習】30分		

使用テキスト:

「イチからしっかり学ぶ! Office基礎と情報モラル Office2016対応」(noa出版)

その他参考文献など:

|情報リテラシー(noa出版)

Officeソフトで作る文書ドリル全55題(noa出版)

受講上の留意点(担当者からのメッセージ):授業での演習時間が少ないので必ず予習・復習をすること。グループでドキュメント制作をす るので、チームワークのスキルを磨くこと。